

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 2月 10日 事業所名 通園めだか

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	19		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレや洗面所スペース等、時間差で使用するなど、適切な人数を意識して使用しています</li> <li>・雨天時等、グループで時間を分けてホールを使う等、工夫しています。</li> </ul>	
	②	職員の配置数は適切である	19		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の配置基準以上の配置をしています。</li> <li>・新人職員がいる時は、OJTの為に、少し多めに職員が入っている場合もあります。</li> <li>・日々の保育の中で情報共有をすることで、職員がサポートしやすいようにしています。</li> </ul>	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	17	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー化では段差がある等の不備があります。</li> <li>・環境設定は大事だと考えています。行事の時には、物が乱雑になりがちなので、気を付けていかなければいけないと思っています。</li> </ul>
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	19		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に合わせて部屋の使い方や遊具の設置を工夫しています。</li> </ul>	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	17	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の職朝、昼礼、保育後の振り返りを行っており、参加できない職員に対しては、ホワイトボードに記入して情報を共有しています。</li> </ul>	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	18		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者向け評価表により事業者評価を実施するとともに、適時アンケートを取る等して、意向確認を行い、業務改善につなげています。</li> </ul>	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	17		・保護者には結果と改善の内容を書面で配布し、それ以外にもホームページで公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	11	7		・第三者委員会による外部評価は行ったことがありませんが、昨年度三重県の実地指導で書類等を確認していただき、指摘事項はありませんでした。外部の方に療育の取り組みを見て頂き、客観的なご意見を伺って業務改善を行うことはしています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	19		・発達の学習会など、短時間勤務の職員にも学べる機会を作り、知識の広がりにつなげています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	17	1	・保護者の方と面談し、ニーズや課題の把握に努めています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	18		・期のまとめとして、園で作成したものを使っています。 ・園において、年1回心理師による発達相談を行っています。また、ことばの課題がある子どもについては、STによるアセスメントを実施しています。	
	⑫	個別支援計画には、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」などの子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	16	1		・個別支援計画には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」の項目で目標を設定しています。全職員へ周知するよう努めます。
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われている	18			

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	18		・各グループ、活動によって、事前に打ち合わせを行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	18		・子ども達に応じた活動を工夫しています。 ・活動後に振り返り、課題について検討しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成している	17		・個人の課題と集団での課題を意識して作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	17		・職朝時にその日の支援内容や役割分担の確認を行っています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	17		・職朝時に前日の反省点等を報告し、職員間で気付いた点等を共有しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	17			
	⑳	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	17			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	17			・担当者会議が招集された場合は参加しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	17		・各市町の保健師、地域の保育所等、関係機関と連携を図る為、保護者の了承のもと、情報共有を適宜行っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	11			・現在、医療的ケアが必要な子どもさんの利用はありません。

⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11			
㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	16		・保育所や幼稚園へ転園する子どもの様子を、事前に見に来ていただき、支援の内容を具体的にお伝えする等の申し送りが行われています。	
㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	15	1	・地域の小学校や特別支援学校へ就学する子どもの様子を、事前に見に来ていただき、支援の内容を具体的にお伝えする等の申し送りが行われています。	
㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	15		・三重県障害児通園施設等連絡協議会の研修に参加したり、地域の連絡会議等に参加しています。	
㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	14	1	・わんぱく教室で地域の子どものとの交流があります。 ・4, 5歳児を対象に地域の保育所との交流保育を行いました。	
㉕	自立支援協議会の発達支援部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	16			
㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	17		・送迎時や毎日の連絡ノートで子どもの様子を伝え合っています。 ・担当者が保護者と話す時間を設けて、相談、助言等も含めて話し合うようにしています。	
㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(親子保育や保護者学習会等)の支援を行っている	17		・定期的に親子保育、保護者学習会を計画して開催しています。	

保護者への説明責任	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	17	1	・運営規定（重要事項説明書）・利用者負担について、丁寧に説明を行っています。	
	㉑	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	18		・保護者に説明し、同意を得ています。	
	㉒	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	18		・送迎時に話を聞いたり、必要に応じて面談の時間を取っています。	
	㉓	親子保育や保護者懇談会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	18		・保護者学習会の後に続いて懇談会を開催する等して、保護者同士の連携を支援しています。	
	㉔	保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	18			
	㉕	定期的におたよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	18		・毎月の行事予定等のおたよりや各行事等、必要に応じておたよりを出し、周知を図っています。	
	㉖	個人情報の取扱いに十分注意している	19			
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	18		・親子保育や送迎時に保護者とコミュニケーションを取り、情報を共有しています。	
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	16	1	・この夏には地域住民と共に園を開放して夏まつりを行いました。	
非常時等	④	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	19		・年間予定に組み入れて訓練を実施しています。	

の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的 に避難、救出その他必要な訓練 を行っている	18		・色々な場面を想定して、 月1回訓練を実施しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てん かん発作等のこどもの状況を確認 している	19		・保護者の方と連絡を取 り、随時確認していま す。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについ て、医師の指示書に基づく対応が されている	16		・現在、食物アレルギーの ある子どもさんはいませ んが、食物アレルギーの ある子どもさんがいる場 合には、対象の食物除去 にて対応しています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業 所内で共有している	19		・ヒヤリハットは記録し て、職員間で情報共有 し、改善について検討し ています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研 修機会を確保する等、適切な対 応をしている	19		・年1回、法人全体での虐 待防止研修を実施してい ます。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体 拘束を行うかについて、組織的に 決定し、子どもや保護者に事前に 十分に説明し了解を得た上で、 個別支援計画に記載している	17		・身体拘束の必要性が生じ た時には、職員会議の中 で検証した上で、保護者 に説明し、了承を得てい ます。 ・また、身体拘束を行った 場合には記録を取り、身 体拘束廃止委員会で緊急 やむを得ない事案に当た るかどうか話し合う等、 事業所内だけでなく、法 人全体で対応を行うよう にしています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。